

# とともに・・・

R7. 5. 22

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

## よいよい人間関係づくりのために

### ～第1回アドジャントークの実施～

5月13日（火）、今年度最初の人間関係づくりプログラム（アドジャン）を、体育館で全校児童対象に実施しました。これは、子どもたちのよりよい人間関係を構築できるよう、月1回実施することにしているものです。

担当の先生から、「これからみんなは、小学校から中学校へ進み、出会いが広がっていきます。多くの人とうまく付き合っていくための技をみかけるように、“アドジャントーク”をしていきます」と、プログラムの趣旨の説明がありました。

この日は、学年関係なくペアや3人グループになり、“自分の好きな食べ物”や“休みの日によくするもの”など、あらかじめ用意されたテーマについて、自身のことを相手に伝えるものでした。その際には約束事として、『①“お願いします”と言ってトークを始めること ②笑顔で話すこと ③うなずきながら友達の話を聞くこと ④“ありがとうございました”と言ってトークを終えること』というルールを決め、子どもたちと確認し、いよいよスタートです。

お互い顔を合わせ、トークが始まりました。あるグループでは、“最近がんばったこと”というテーマについて話しています。「テストで100点をとった」「野球をがんばっている」等、自身のことを教え合っています。表情も笑顔で楽しそうです。周りの子どもたちもトークに花が咲き、温かな空気感が広がっています。

アドジャントークを終え、子どもたちの感想を聞いてみると、「楽しかった」「自分のことを話せて友達のことも聞けてよかった」との声。「もっとしたかった」と担任の先生にお話しした子もいたようです。

このプログラムを通して、笑顔で向き合い、相手の話をうなずきながら聞くことのよさや大切さを感じつつ、今そしてこれから出会うさまざまな人とよりよくつながるスキルを磨いてほしいと思います。



### しゃべらずに素早く避難～火災避難訓練～

5月12日（月）、家庭科室から火災が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。

避難ベルが鳴り、教頭先生からの「避難してください」の放

送が流れました。4年生の教室では、ベルの音に少々ドキッとしたような表情を浮かべた子どもたちも、担任の「並びなさい」という指示のもと、素早く教室の後ろに並び、避難開始。避難場所の運動場へと向かいます。

訓練前に確認した“おさない・

はしない・しゃべらない・どちらない”を意識しながら避難ができます。



避難場所に全学年の子どもたちがだんだんと集まってきたました。校舎内では“しゃべらない”を意識できていたようですが、校舎の外では気が緩んでしまったのか声が聞こえています。集団での避難です。誰もがいつでも大事な指示を聞き落さないためには、“しゃべらない”は守りたいものです。

後日、再度訓練を実施してみました。子どもたちは最後までしゃべらずに素早く避難することができ、大変立派でした。

今回は、授業中での避難を想定したものでしたが、災害はいつも発生するかわかりません。休み時間など教師が子どもについていない時間帯に避難が必要になる場面を想定した訓練も今後実施し、いざというときに備えていきたいと考えています。

### ～別府事務所訪問がありました～

5月15日（木）、別府教育事務所の学校訪問があり、子どもたちの学習の様子をご覧いただきました。

事務所の方から、「どのクラスの指導案も、子どもが自分で考え解決していくための手立てが明確になっている」「子ども一人一人を大切にした授業となっている」とお褒めをいただきました。



今後もさらなる授業力向上に向け、努力してまいります。

### 「校長先生、野イチゴをとったよ！！」

昼休み、子どもたちが「校長先生、野イチゴをとった！！」と摘み取った野イチゴを手のひらに大事そうに乗せて、私に見せてくれます。真っ赤な野イチゴがたくさん乗っています。「先生あげる！」と、1つ私におすそ分けです。最後に野イチゴを食べたのはいつでしょうか・・・。口に含むと、野イチゴの甘酸っぱさが口いっぱい広がり、同時に懐かしさでいっぱいにもなります。



このような素晴らしい自然に囲まれ、触れ合いながら、本校の子どもたちはたくましく育っています。北杵築の豊かな自然に大いに感謝です。